

会長挨拶

日本溶接材料工業会は、国民生活の向上に必要な基礎資材である溶接材料の技術や品質の向上と普及、統計の整備、環境課題への対応等に努め、わが国溶接業界の健全な発展を図ることを目的に、昭和48年に設立されました。新元号の令和に至る今日まで幾度も大きな環境変化に見舞われてきましたが、会員各社の不断の努力により、我が国製造業の発展に大きく貢献するなど着実に取り組みを進めてきております。

平成の時代を振り返りますと、産業構造の変化、為替の乱高下に加え、多くの自然災害に直面してきました。直近では各国の保護主義政策の台頭など、先行きへの不透明感が急速に進展しています。また、少子高齢化、働き方改革により、溶接士不足が深刻な問題となっています。

このような中、当業界でも、溶接士の不足に伴う外国人技能者の採用拡大や、IoT、AIをはじめとする技術進展など、溶接材料を取り巻く環境は大きく変化しております。当工業会としては、大きく変化しているこの時期こそチャンスと捉え、「ものづくり」のキーテクノロジーである溶接技術、品質の向上を図り、わが国製造業の「ものづくり力の強化」への貢献を果たして参ります。そして、世界への発信と提案活動を強化し、グローバルスタンダードの形成に向けて、日本が真のリーダーシップを発揮できるよう常に変革を求め、業界の活性化に繋がる取り組みを進めて参ります。

また、会員各社の共通課題に対し、関係監督省庁との連携を図りながら、環境を整備し、各社が事業活動を効率的に行えるよう有益な情報提供に努めます。

これらの活動の基盤となるコンプライアンスへの取り組みにつきましても、工業会自ら体制整備、活動強化を図ると共に、会員各社は良識と責任をもって業務を遂行し、法令遵守に努めることを宣言しております。このため、当工業会のホームページを活用し、活動の現況をお伝えしてゆくとともに、グローバルな活動の架け橋となるような運営を図っていきます。

令和という新しい時代においても、当工業会は、会員各社とともに『協調と競争』の精神のもと、世界で最も信頼される日本の溶接技術のプレゼンスを高め、産業の発展に貢献することを目指して参ります。

2019年6月

(一社) 日本溶接材料工業会
会長 山本 明